

取扱説明書

日立誘導灯用吊装置

HITACHI

Inspire the Next

保管用

角 形：JPW3110、JPW5110、JPW8110

オワン形：JPW3111、JPW5111、JPW8111

このたびは日立誘導灯用吊装置をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。

お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

●素人工事は法律で禁じられております

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●吊装置の取り付けは、質量に耐える所に取扱説明書に従って行なってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。



取り付け



●吊装置を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。



改造



●電源線の接続は念入りに絶縁処理をしてください。絶縁テープは自己融着のものを、おすすめします。



電源接続

●吊下荷重(照明器具重量)は、本体表示、取扱説明書に従い、制限荷重以下でご使用ください。荷重超過の場合、器具落下などの原因となります。



荷重超過禁止

●この吊装置は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用できません。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。

●この吊装置は、海岸に近い塩害地区には使用できません。早期の錆発生、器具落下の原因となります。

●この吊装置は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま施工されますと、落下の原因となります。

●この吊装置は、屋内専用ですので、風が吹く場所には使用できません。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。



使用環境

●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

お客様へ

使用上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●ランプ交換や吊装置お手入れの際は、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま交換を行うと感電の原因となります。



電源を切って

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●吊装置を洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。吊装置の破損、落下、感電の原因となります。



薬品類



●吊装置を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。



ランプ
器具清掃

●金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。



金属
部分

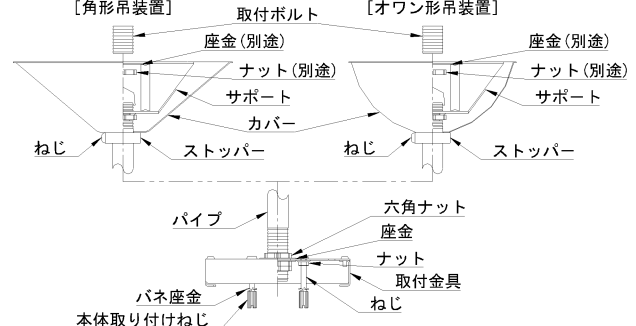
●照明器具には寿命があります。

●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。

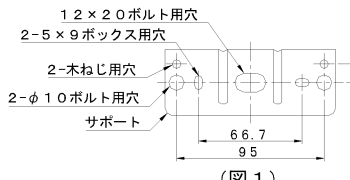
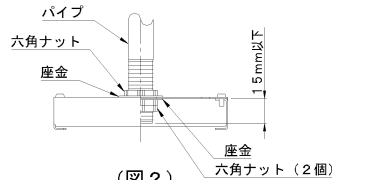
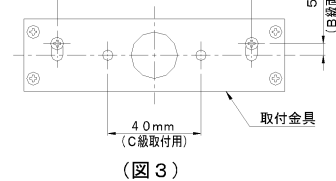
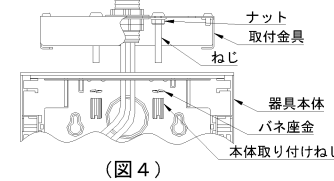
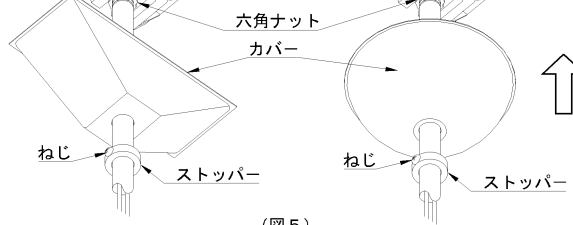
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

■各部のなまえ

	形名	カバー形状	吊装置質量
	JPW3110	角形	0.6Kg
	JPW3111	オワン形	
	JPW5110	角形	
	JPW5111	オワン形	0.7Kg
	JPW8110	角形	
	JPW8111	オワン形	0.8Kg
許容質量 10Kg／1本			

■吊装置の取り付けかた

1 サポートの取り付け方法 1. サポートをボルト用穴または木ねじ用穴を利用して天井に固定してください。(図1) (天井ボルトはW3／8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。) (木ねじは丸木ねじの呼び4.1を使用してください。) 2. アウトレットボックスに取り付ける場合は、ボックス用穴を利用してください。 注) 取り付けに不備があると落下の原因となります。	  (図1) (図2)
2 パイプと器具本体の固定方法 1. 六角ナットと座金を利用して取付金具に吊装置を取り付けてください。取付金具内のパイプ長は15mm以下としてください。 15mm以上になると器具に取り付けることができません。(図2) 2. 器具本体上部のノックアウトをあけてください。 3. 誘導灯器具により、取付金具の取り付け穴が違いますので、(図3)を参照して、付属のねじとナットを固定してください。(図4) 4. 取付金具を付属のパネ座金、本体取り付けねじにて誘導灯器具に固定してください。(図4) 5. パイプおよび、器具内に電源線を通してください。 注) 取り付けに不備があると落下の原因となります。	  (図3) (図4)
3 サポートへの固定方法 1. パイプにストッパー、カバーの順に通し、最後に六角ナットをねじ込んでください。(図5) 2. パイプを持って器具を持ち上げ、サポートに引っ掛け、六角ナットで固定してください。 3. 天井側電源線を結線してください。 4. カバーが天井に密着するまで押し上げてから、ストッパーのねじでカバーを固定してください。 注) 取り付けに不備があると落下の原因となります。	 (図5)

アフターサービス・・・ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。